「富富富」情報（第2号）

令和３年４月
ＪＡなのはな『富富富』ブランド化推進協議会

いよいよ今年度の「富富富」の田植えが始まります！
品種特性に応じた的確な管理作業により、高品質・良食味生産に努め、本県を代表とするブランド米として育成しましょう。

１　基肥の適正な施用

・基肥施用量は、**窒素成分でコシヒカリの2割減を基本**としてください。

表１　基肥施肥量の目安

土質	分施						肥効調節型基肥
	側条施肥		全層施肥				側条施肥
	設計Ⅰ	設計Ⅱ	設計Ⅰ		設計Ⅱ		富富富専用基肥一発肥料
	なのはな有機基肥	基肥555	なのはな有機基肥		基肥555		
			基肥	早期追肥（田植後7日）	基肥	早期追肥（田植後7日）	
砂質田	28kg	24kg	24kg	10kg	20kg	10kg	32kg
壌質田	24kg	20kg	20kg	10kg	16kg	10kg	28kg
粘質田	20kg	16kg	16kg	10kg	12kg	10kg	24kg

※転作跡田で作付する場合は分施栽培とし、基肥量を減らしてください。
転作跡田での基肥量の目安　　砂質～壌質田：表1と同量～3 割減肥、・粘質田：表1の3～10 割減肥

２　適切な田植作業の実施

・換気の徹底により健全な苗に仕上げましょう。
・安定した食味や収量を確保するため、**田植えは5月6～20 日（5月 15 日を中心）に実施**しましょう。
・**栽植密度は 70 株/坪以上を基本**とし、植付本数3～4本/株、植付深さ3cm となるよう田植機を調整しましょう。
・苗箱施薬剤の使用にあたっては、登録内容を遵守するとともに、**必ず成分数を確認**しましょう。

３　初期の水管理と雑草防除の徹底

・**田植後3日間程度はやや深水**にして活着を促進し、**活着後は浅水管理**により水温の上昇に努め、分げつの発生を促進しましょう。
・**除草剤の散布後5日間は湛水状態、散布後7日間は止水管理としましょう**。
・除草剤の使用にあたっては、登録内容を遵守するとともに、生育期間を通しての化学合成農薬の成分使用回数が12以内となるか、**必ず成分数を確認**しましょう(表2)。

表2　富富富の雑草防除体系例

前作【水稲の場合】	区分	薬剤名	使用時期	使用量(kg/10a)	対象雑草	成分数
富富富以外の品種の場合	初期剤	マーシェット 1 キロ粒剤	移植後3～5日（ノビエ 1.0 葉期まで）	1	水田1年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ ミズガヤツリ	1
	一発剤	ボデーガードプロ 1キロ粒剤	初期剤散布後10～14日後（ノビエ 3.0 葉期まで）	1	水田一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ウリカワ・ オモダカ・クログワイ・セリ等	2
富富富の場合	一発剤	エンペラー 1 キロ粒剤	移植時～移植後 13 日（ノビエ 2.5 葉期まで）	1	水田一年生雑草・マツバイ・ホタルイ・ミズガヤツリ・ウリカワ・ オモダカ・クログワイ・セリ	3

※富山県農林水産部「令和3年度　農作物病害虫・雑草防除指針」より一部引用

春の農作業安全運動実施中！（４月１日～５月 31 日）